

HP TFT7600 G2ラックマウント型キーボード/ モニターKVMコンソール ユーザーガイド

摘要

このガイドでは、HP TFT7600 G2ラックマウント型キーボード/モニターKVMコンソールの操作手順について説明します。



製品番号 : 615930-193
2012年6月
版数 : 3

© Copyright 2010, 2012 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

Bluetooth®は、その商標権者が所有する商標でありHewlett-Packard Companyはライセンスに基づき使用しています。ENERGY STAR®およびENERGY STAR®ロゴは、米国の登録商標です。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

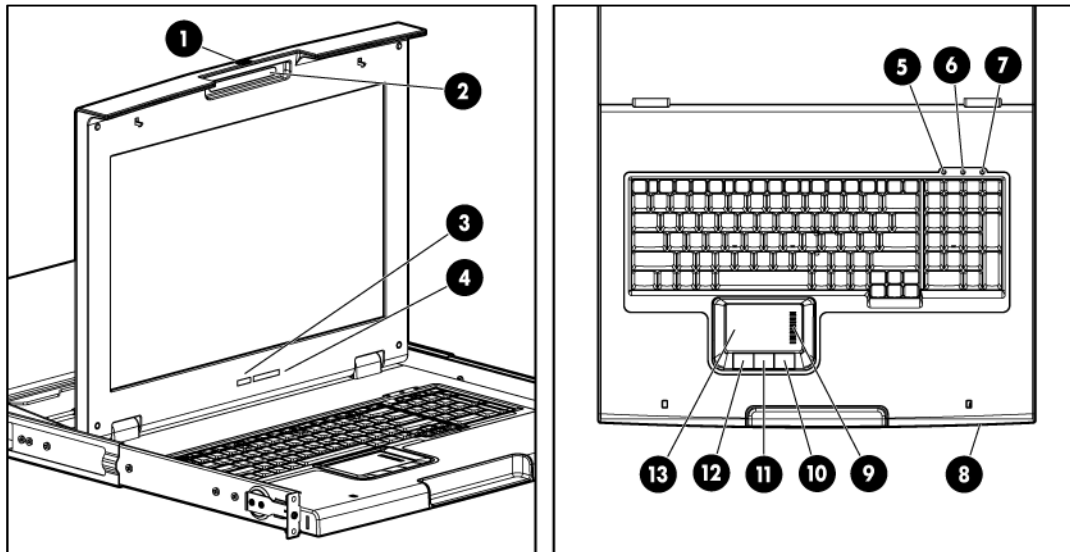
目次

はじめに	5
主なコンポーネント	5
背面のコンポーネント	6
ENERGY STAR準拠	6
取り付け	7
キットの内容	7
HP TFT7600 G2ラックマウント型キーボード/モニターKVMコンソールを取り付ける	7
ケーブルの接続と配線	11
HP TFT7600 KVMコンソールにアクセスする	12
HP 1Uアジャスタブルツールレスレールを取り外す	13
ケーブルロックメカニズム付きPS2ケーブルを取り外す	13
HP-UXで1440×900のネイティブディスプレイ解像度を有効にする	14
操作の概要	15
オンスクリーンメニュー	15
OSDメニューを起動する	15
OSDの使用	15
OSDメニュー	16
Brightness/Contrast（明るさ/コントラスト）	16
Image control（画像制御）	16
Advanced（アドバンスド）	17
Auto Configuration（自動構成）	18
Factory settings（出荷時設定）	18
Language（言語）	18
Information（情報）	18
保守	19
保守のガイドライン	19
モニターの清掃	19
運搬手順	20
HP TFT7600 KVMコンソールを設置したラックの移動	20
規定に関するご注意	21
電源コードに関するご注意	21
規定準拠識別番号	21
各国別勧告	21
Federal Communications Commission notice	21
Canadian notice (Avis Canadien)	23
European Union regulatory notice	23
BSMI notice	24
Korean notice	24
Chinese notice	24
China energy regulations	25
Disposal of waste equipment by users in private households in the European Union	25
電源コードの要件	25

静電気対策	26
静電気による損傷の防止	26
静電気による損傷を防止するためのアースの方法	26
頭字語と略語	27
索引	28

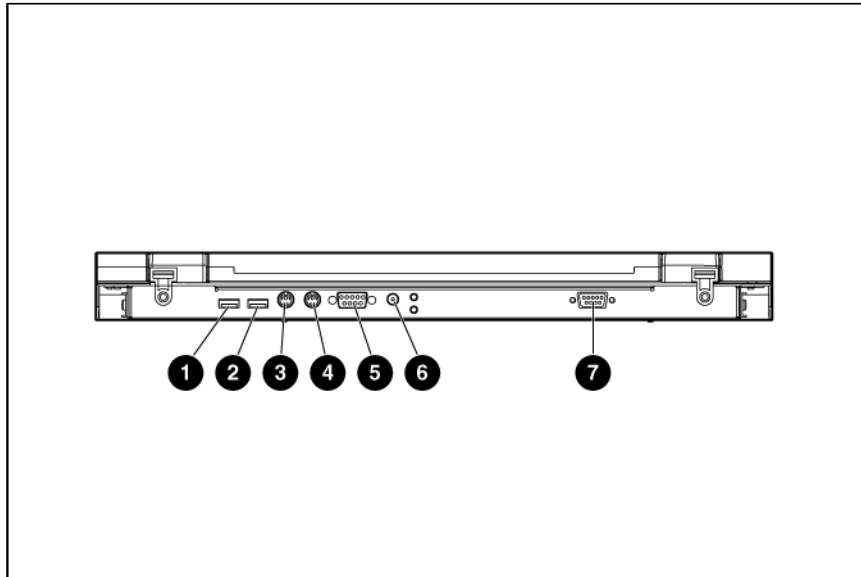
はじめに

主なコンポーネント



番号	コンポーネント	機能
1	ディスプレイリリースラッチ	押し下げると、ディスプレイアセンブリのラッチが外れます。
2	青色のLED	<ul style="list-style-type: none">ディスプレイを閉じると点灯します。これにより、ラック内のHP TFT7600 KVMコンソールを簡単に見つけることができます。
3	OSDの起動ボタン	<ul style="list-style-type: none">OSDメニューを起動します。選択します。OSDメニューを終了します。
4	OSDのスクロールアップおよびスクロールダウンボタン	OSDメニューでスクロールしたり、機能を調整したりする場合に使用します。
5	Scroll lock LED	Scroll lockがオンのとき点灯します。
6	Cap lock LED	Cap lockがオンのとき点灯します。
7	Number Lock LED	Number lockがオンのとき点灯します。
8	USB接続	背面のUSBポートへのパススルー
9	スクロールバー	モニターをスクロールする際に使用します。
10	右選択ボタン	右側のオプションを選択する際に使用します。
11	中央選択ボタン	中央のオプションを選択する際に使用します。
12	左選択ボタン	左側のオプションを選択する際に使用します。
13	タッチパッド	モニターでマウスを移動する際に使用します。

背面のコンポーネント



番号	コンポーネント
1	USBパススルー
2	USBキーボードとマウスポート
3	PS2キーボードポート
4	PS2マウスポート
5	VGA入力ポート
6	電源接続ポート
7	シリアルファームウェアポート

ENERGY STAR 準拠

HP TFT7600 KVMコンソールは、ENERGY STAR®の認定を受けています。



ENERGY STAR®認定について詳しくは、HPのWebサイト<http://www.hp.com/hpinfo/globalcitizenship/environment/products/ecolabels.html>（英語）を参照してください。

取り付け

キットの内容

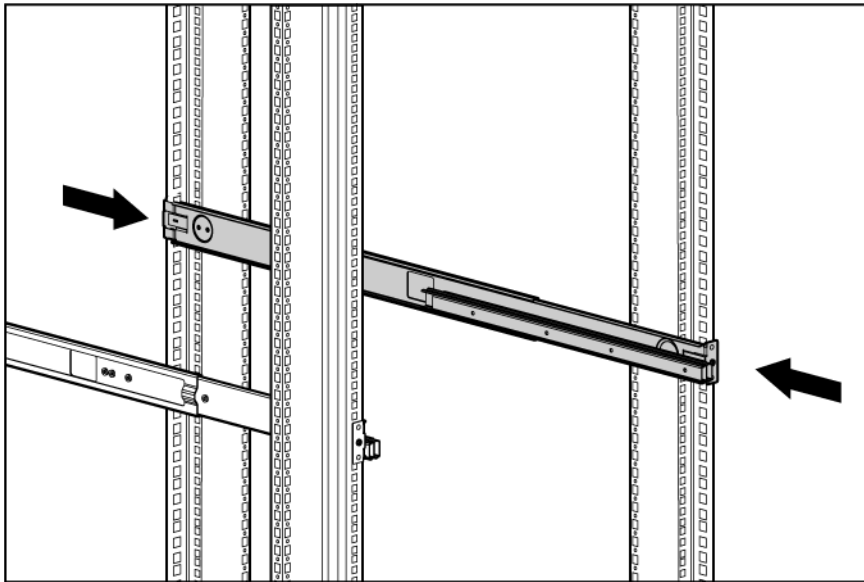
項目	数量
HP TFT7600 KVMコンソール	1
M6ネジ	4
6-32ネジ	5
HP 1Uアジャスタブルツールレスレール	2
ケーブルマネジメントアーム、ブレースレール付き電源アダプター	1
ロックプレート	2
USBケーブル	2
PS2ケーブル	2
ビデオケーブル	1
電源コード	2
USBケーブルラベル	2

このキットには、これら以外の部品が含まれている場合があります。

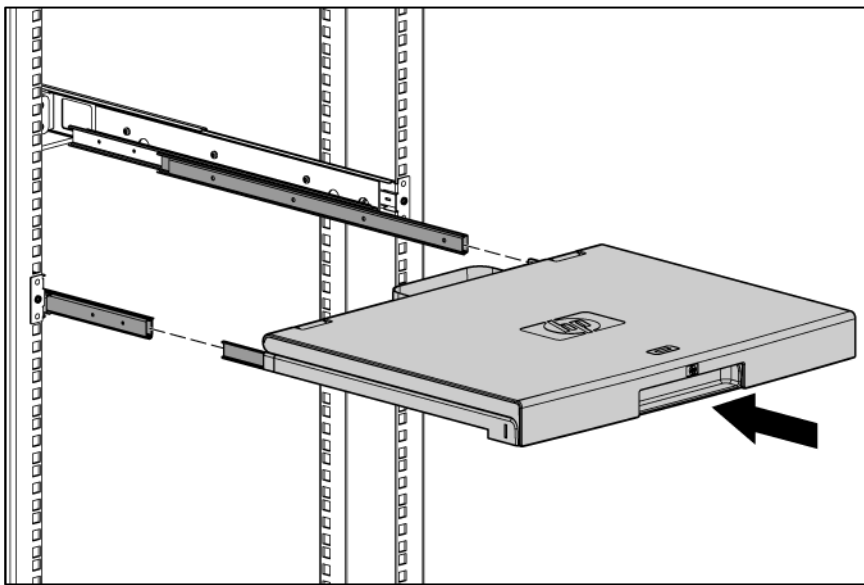
HP TFT7600 G2ラックマウント型キーボード/モニターKVMコンソールを取り付ける

1. HP 1Uアジャスタブルツールレスレールを、ラック上の印を付けた穴に合わせて、所定の位置にはめ込みます。
 - a. HP 1Uアジャスタブルツールレスレール的一方の端をreinaレールにはめ込みます。
 - b. HP 1Uアジャスタブルツールレスレールの反対側を、ラックの奥行きに合うように引き伸ばして、所定の位置にはめ込みます。

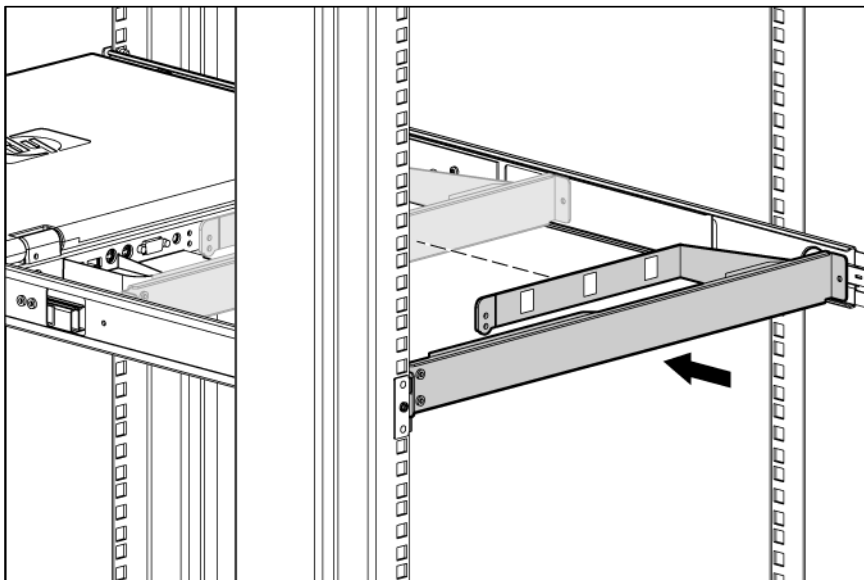
注： HP 1Uアジャスタブルツールレスレールが所定の位置にはまらない場合は、ラック上の印を付けた穴に合わせてあるかどうかを確認してください。ラック上の印を付けた穴の位置は、ラックの正面側と背面側で同じでなければなりません。



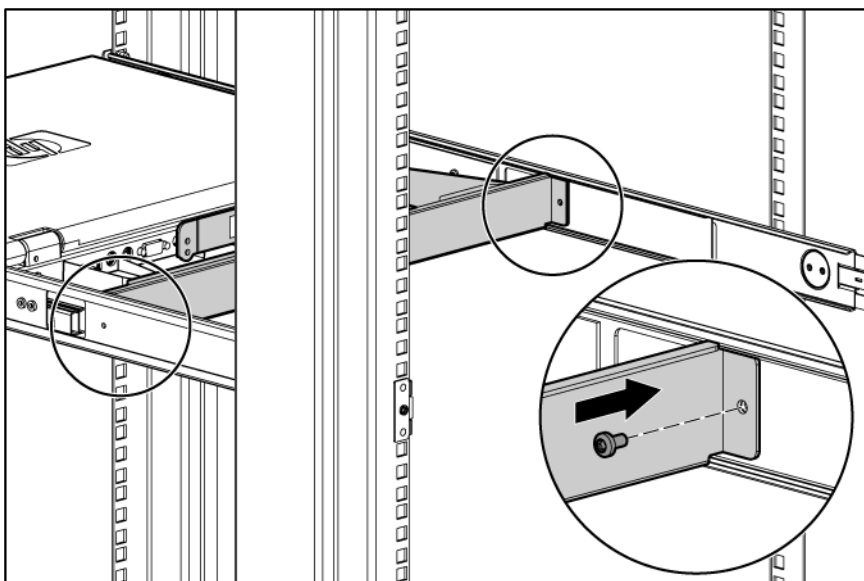
2. 内側のスライドレールを、所定の位置で固定されるまで引き伸ばします。
3. 引き伸ばした内側のスライドレールにユニットの位置を合わせて、ユニットをラックに挿入します。



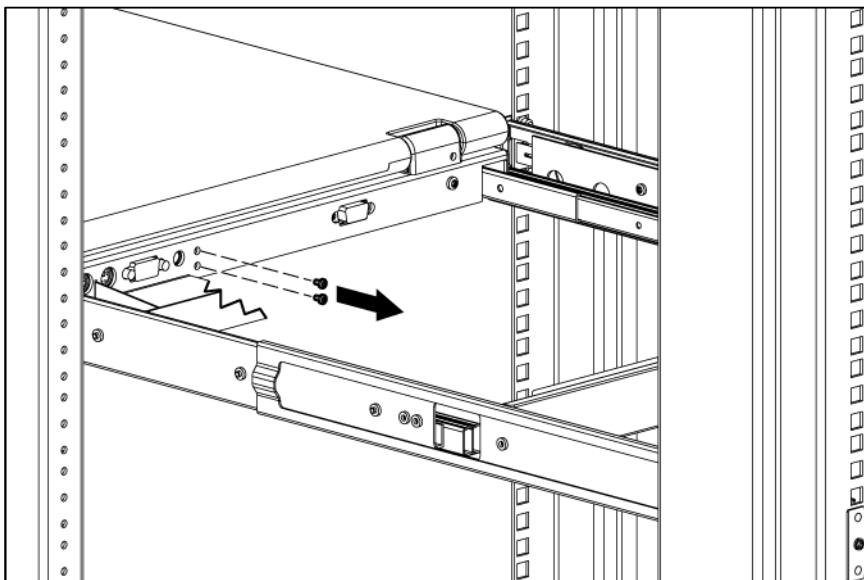
4. ラックの背面側から、ブレースレールアセンブリを、HP 1Uアジャスタブルツールレスレール間にスライドさせて挿入します。



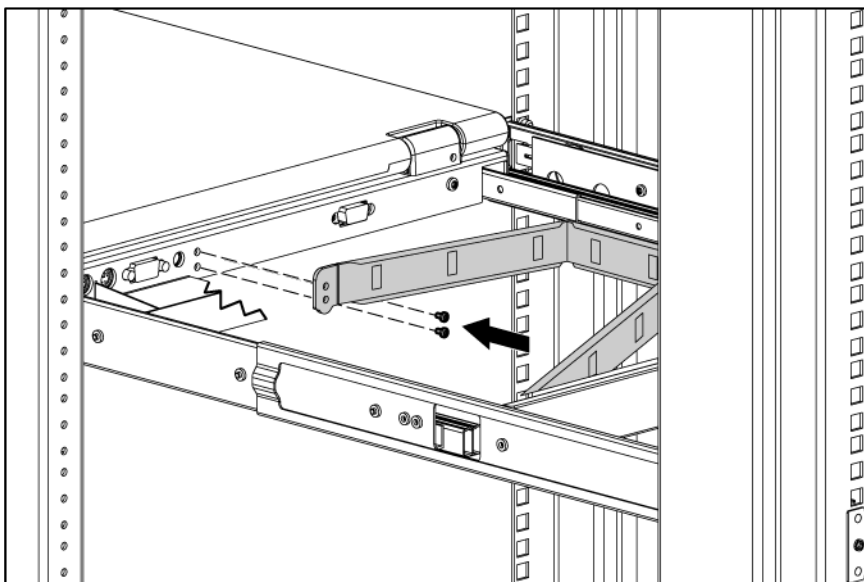
5. ブレースレールのネジ穴をHP 1Uアジャスタブルツールレスレールのネジ穴に合わせます。
6. 2本の6-32ネジを使用してブレースレールをHP 1Uアジャスタブルツールレスレールに固定します。



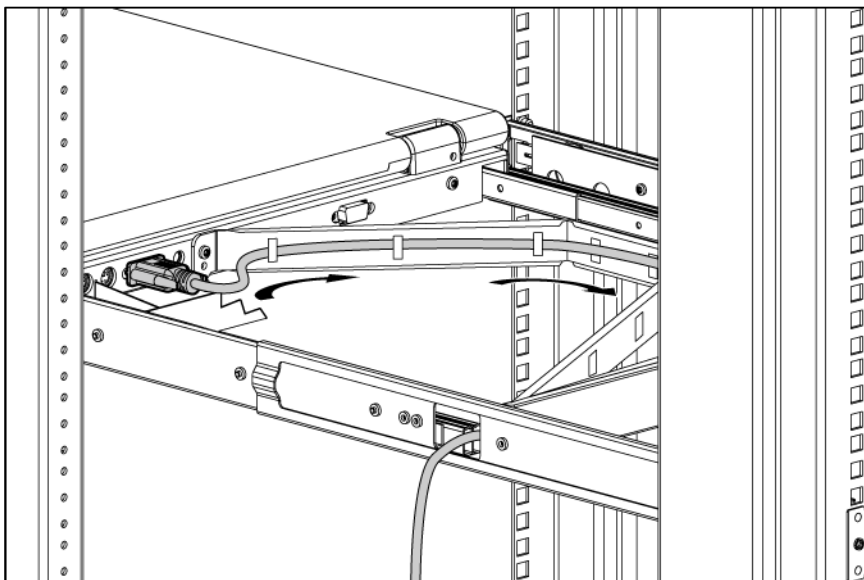
7. ユニットの背面から2本の輸送用ネジを取り外します。



8. 2本の6-32ネジを使用してケーブルマネジメントアームをユニットの背面に取り付けます。



9. ケーブルを接続して、ケーブルマネジメントアームとユニットの開口部を通して配線します。



以上で取り付けは完了です。

ケーブルの接続と配線

ケーブルをケーブルマネジメントアームとケーブルトレイを通してHP TFT7600 KVMコンソールに接続する際は、次の配線方法を使用してケーブルがトレイに収まるようにしてください。



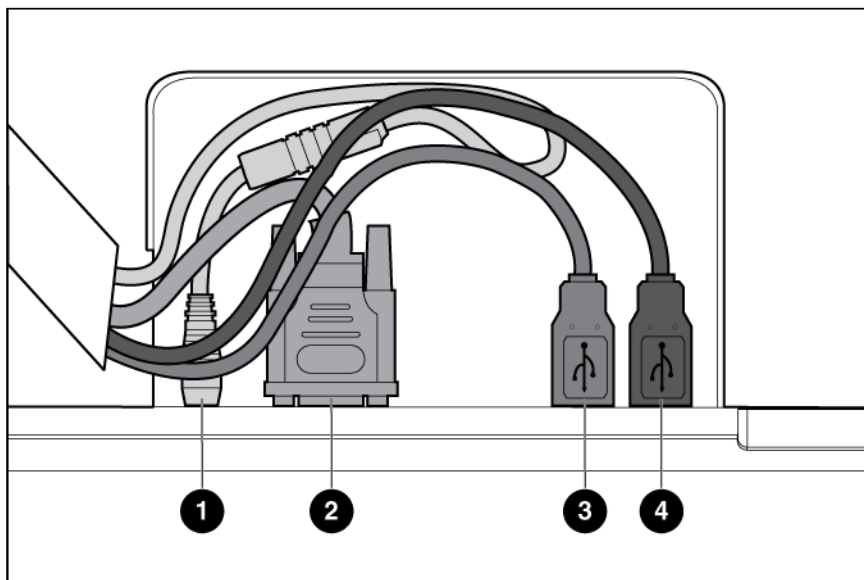
重要：ユニットをデバイスに接続する際は、PS/2ケーブルまたはUSBキーボード/マウスケーブルのいずれかを使用してください。両方を使用しないでください。

注：PS/2ケーブルは、USBキーボード/マウスケーブルと同じケーブル配線方法を使用します。

ケーブルを接続し、配線するには、以下の手順に従ってください。

1. 電源ケーブルを接続し、配線します（1）。
2. VGAケーブルを接続し、配線します（2）。
3. USBキーボード/マウスケーブルを接続し、配線します（3）。
4. USBパススルーケーブルを接続し、配線します（4）。

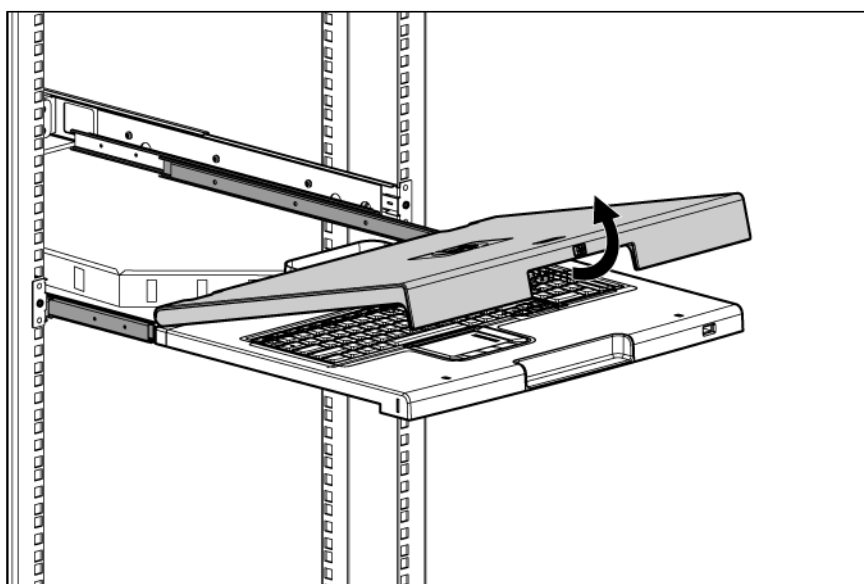
次の図に、ケーブルを接続する位置とトレイ内のケーブル配線方法を示します。



番号	説明
1	電源ケーブル
2	VGAケーブル
3	USBキーボード/マウスケーブル
4	USBパススルーケーブル

HP TFT7600 KVMコンソールにアクセスする

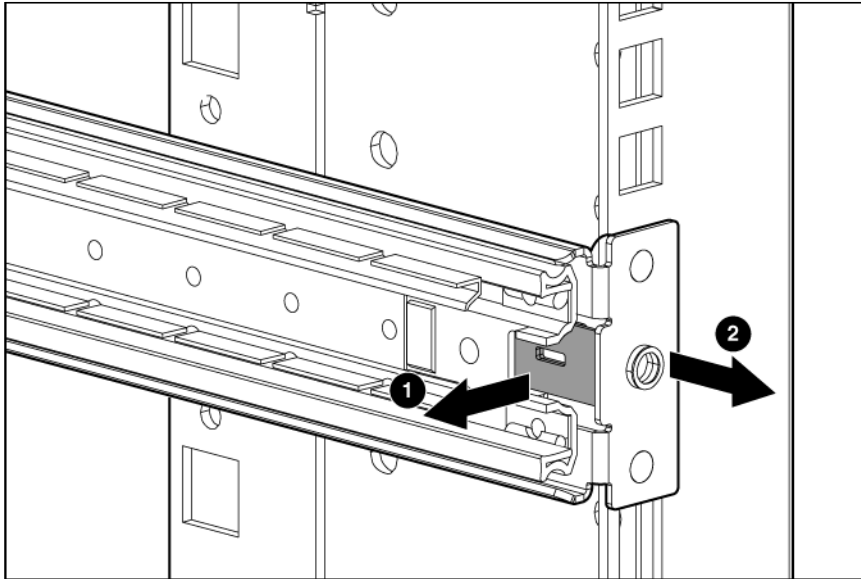
1. スライドがロックするまでHP TFT7600 KVMコンソールをゆっくりと引き出します。
2. ディスプレイリリースラッチを押して、ディスプレイを持ち上げます。



HP 1Uアジャスタブルツールレスレールを取り外す

1. スプリング式リリースの位置を確認します。
2. HP 1Uアジャスタブルツールレスレールの外側に手を回し、スプリング式リリースを動かせる位置まで指先を伸ばします。
3. スプリング式リリースをラックの内方向にゆっくりと動かしながら (1)、HP 1Uアジャスタブルツールレスレールを手前に移動させて、ラックから取り出します (2)。

注： HP 1Uアジャスタブルツールレスレールの外側からスプリング式リリースにアクセスできない場合は、工具を使用して、HP 1Uアジャスタブルツールレスレールの内側からスプリング式リリースのロックを解除しなければならない場合があります。



4. もう一方のHP 1Uアジャスタブルツールレスレールで、上記の手順を繰り返します。

ケーブルロックメカニズム付きPS2ケーブルを取り外す

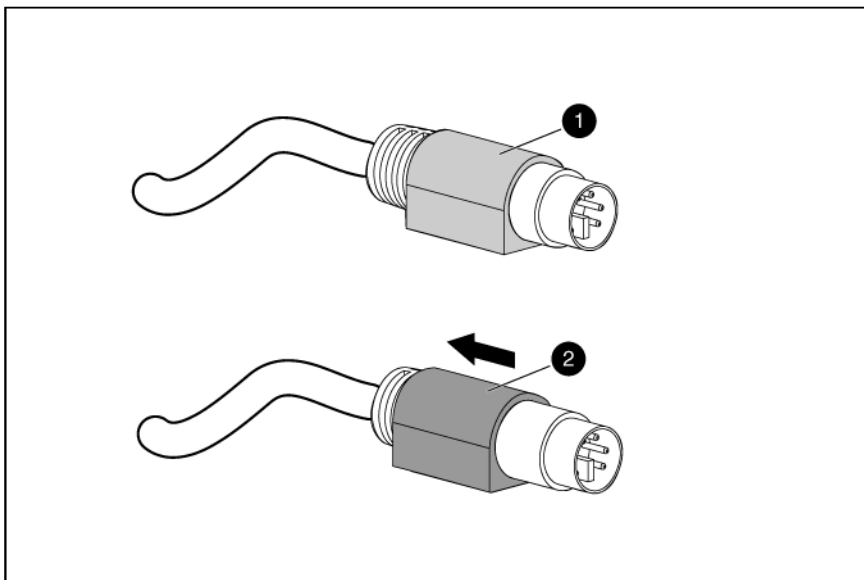
PS2ケーブルには、ケーブル接続を確実にするためのケーブルロックメカニズムが付いています。これらのケーブルを取り外す場合は、正しい手順を実行しなければなりません。

△ 注意： 正しい手順に従って取り外さないと、ケーブルまたはユニットが損傷する場合があります。

PS2ケーブルを正しく取り外すには、以下の手順に従ってください。

1. カバーを持ちます。

2. カバーを後ろにずらしてケーブルロックメカニズムを外し、ゆっくりと引いてケーブルを取り外します。



HP-UXで1440×900のネイティブディスプレイ解像度を有効にする

ワイド画面パネルに関連する問題を解決するには、少なくとも次のサーバーパッチ（または以降）のいずれかがインストールされていることを確認してください。

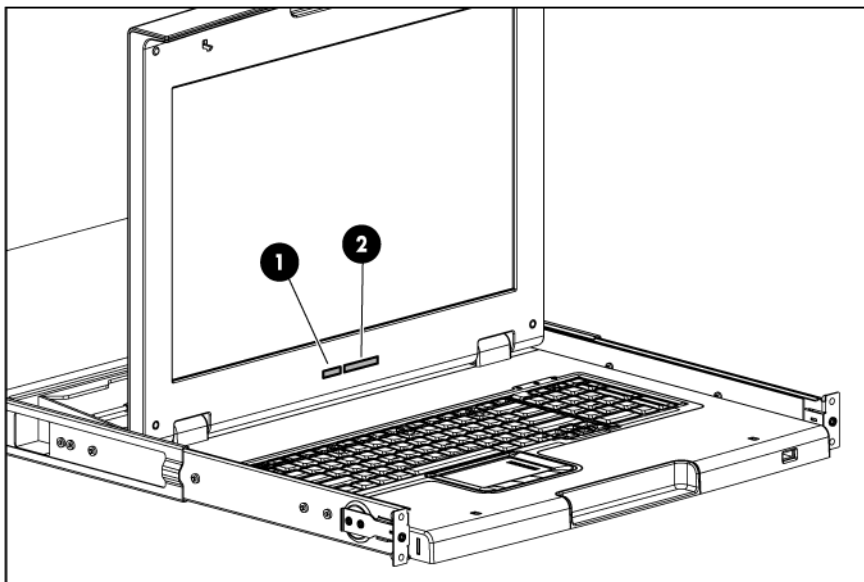
- PHSS_40809 (11.31)
- PHSS_40810 (11.23)

HP-UXでの解像度の設定方法について詳しくは、『Graphics Administration Guide for HP-UX 11.x servers』（HPのWebサイト<http://docs.hp.com/en/5900-0585/5900-0585.pdf>（英語））を参照してください。

操作の概要

オンスクリーンメニュー

OSDのボタンを使用して、HP TFT7600 KVMコンソールのOSDメニューを操作します。



番号	コンポーネント	機能
1	OSDの起動ボタン	<ul style="list-style-type: none">OSDメニューを起動します。メニューオプションを選択します。OSDメニューを終了します。
2	OSDのスクロールアップおよびスクロールダウンボタン	OSDメニューでスクロールしたり、機能を調整したりする場合に使用します。

OSDメニューを起動する

OSDメニューを起動するには、以下の手順に従ってください。

1. フロントパネルのOSDの起動ボタンを押します。画面にメインメニューが表示されます。
2. OSDのスクロールアップおよびダウンボタンを使用して、設定したい項目を選択します。
3. OSDの起動ボタンをもう一度押して、設定したい項目を選択します。詳細を設定するためのサブメニューが表示されます。

OSDの使用

OSDメニューおよび機能を使用するには、以下の手順に従ってください。

- アップ (+) またはダウン (-) ボタンを使用して、OSDメニューまたはOSDサブメニューをスクロールします。アップ (+) およびダウン (-) ボタンは、機能設定を調整または変更するためにも使用します。

- OSDの起動ボタンを使用して、サブメニューまたは機能を選択します。

例：

OSDメニューを終了するには、以下の手順に従ってください。

1. **ダウン (-)** ボタンを押して、[Exit]機能にスクロールします。
2. **OSDの起動**ボタンを押して[Exit]機能を選択して、OSDメニューを終了します。

OSDメニュー

OSDメニューを使用すると、ディスプレイ設定および機能にアクセスして、HP TFT7600 KVMコンソールのディスプレイ設定をカスタマイズすることができます。

Brightness/Contrast（明るさ/コントラスト）

[Brightness/Contrast]オプションには、以下のオプションが含まれています。

- 輝度
- Contrast（コントラスト）
- Exit（戻る）サブメニュー

Brightness（輝度）

[Brightness]オプションにより、スライダーバーが表示され、バックライトの輝度を調整できるようになります。

Contrast（コントラスト）

[Contrast]オプションにより、スライダーバーが表示され、画面のコントラストを調整できるようになります。コントラストを調整する場合、背景が白色であると、画面は識別しやすくなります。

Image control（画像制御）

[Image control]オプションには、以下のサブメニューが含まれています。

- Horizontal position（水平位置）
- Vertical position（垂直位置）
- Clock（クロック）
- Phase（フェーズ）
- Exit（戻る）サブメニュー

Horizontal position（水平位置）

[H position]オプションにより、スライダーバーが表示され、画面の水平位置を調整できるようになります。

バーの中央の値は、水平位置の工場出荷時の設定値から求められます。値=MINのとき、+の位置の選択範囲は、XGAとSXGAパネルで異なる場合があります。これは、MIN OSDの配置の物理的限界によるものです。

Vertical position (垂直位置)

[V position]オプションにより、スライダーバーが表示され、画面の垂直位置を調整できるようになります。バーの中央の値は、垂直位置の工場出荷時の設定値から求められます。

Clock (クロック)

[Clock]オプションにより、スライダーバーが表示され、水平クロックを調整できるようになります。

Phase (フェーズ)

[Phase]オプションにより、スライダーバーが表示され、アナログ信号フェーズを調整できるようになります。

Advanced (アドバンスト)

[Advanced]オプションには、以下のオプションが含まれています。

- OSD settings (OSD設定) メニュー
- Exit (戻る) サブメニュー

OSD settings (OSD設定)

[OSD settings]オプションには、以下のオプションが含まれています。

- Lock OSD settings (OSD設定ロック)
 - Yes (はい)
 - No (いいえ)
- Timeout (タイムアウト)
- V position (垂直位置)
- H position (水平位置)
- Exit (戻る) サブメニュー

Lock OSD settings (OSD設定ロック)

[Lock OSD settings]オプションを使用すると、OSD設定をロックまたはロック解除することができます。

Timeout (タイムアウト)

[Timeout]オプションにより、OSDディスプレイの右側にスライダーバーが表示され、OSDのタイムアウトを調整できるようになります。タイムアウトの範囲は、1秒間隔で5~60秒です。デフォルト設定は、10秒です。

Vertical position (垂直位置)

[V position]オプションにより、OSDウィンドウの位置を画面上で上下に移動できます。

Horizontal position (水平位置)

[H position]オプションにより、OSDウィンドウの位置を画面上で左右に移動できます。

Auto Configuration（自動構成）

[Auto Configuration]オプションでは、以下の4つの機能を自動的に実行します。

- Auto Level - 自動的に画面の黒色と白色のレベルを調整します。
- Auto Position - 自動的に画面の位置を調整します。
- Auto Phase - 自動的にフェーズを調整します。
- Auto Clock - 自動的に入力クロックに合わせて、1ラインごとに出カクロックを調整します。

Factory settings（出荷時設定）

[Factory settings]オプションにより、HP TFT7600を工場出荷時の設定に戻すことができます。[Factory settings]メニューには、以下のオプションが含まれています。

- Yes（はい）
- No（いいえ）
- Exit（戻る）サブメニュー

Language（言語）

[Language]オプションにより、メニューオプションの表示言語を変更することができます。以下の言語を選択することができます。

- English（英語）
- French（フランス語）
- German（ドイツ語）
- Italian（イタリア語）
- Japanese（日本語）
- Simple Chinese（簡体字中国語）
- Spanish（スペイン語）

Information（情報）

[Information]オプションには、以下のユニットの情報が含まれています。

- Current mode（現在のモード）
- Recommended mode（推奨モード）
- SW version（ソフトウェアバージョン）
- Exit（戻る）サブメニュー

保守

保守のガイドライン

ユニットを過熱や損傷から守るために、以下の注意事項に従ってください。

- AC電源は、ユニット背面のラベルに記載された条件に適合するものを選んでください。
- 延長コードやマルチソケットに接続する場合には、コードに接続する機器の定格電流の合計が、延長コードやマルチソケットの許容電流の80%を超えないようにしてください。
- 電源コンセント、マルチソケット、または電源ソケットに負荷をかけ過ぎないようにしてください。システム全体の負荷が回路の定格電流の80%を超えないようにしてください。マルチソケットを使うときは、負荷がマルチソケットの入力定格の80%を超えないようにしてください。
- ユニットの、ACコンセントの近くに設置します。電源コードをACコンセントから外すときは、必ずプラグをしっかりと持って抜きます。コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- ユニットの掃除するときには、必ず電源コードをACコンセントから外します。液体クリーナーやスプレー式クリーナーは使わないでください。
- モニターのスロットと開口部は通気のために必要です。スロットと開口部を異物でふさがないようにしてください。
- ユニットの落下したり、不安定な台の上に置いたりしないでください。
- 電源コードの上に物を置いたり足で踏んだりしないでください。
- ユニットの通気の良い場所に設置し、過度の光熱や湿気にさらさないようにします。また、大容量のトランスやモーターなど、強い磁気を発生する機器の近くに置かないでください。
- ユニットの自分で修理しないでください。ユニットの調整は、このマニュアルに記載の方法で行ってください。ユニットが正常に動作しない場合、あるいは落下したり破損した場合には、HPのサービス窓口にお問い合わせください。

モニターの清掃

以下の手順でディスプレイを清掃してください。

1. ユニットの電源を切り、電源コードを外します。
2. 画面については、清潔な柔らかい布で拭いてパネルのほこりを取り除きます。

布で拭いただけでは画面の汚れがとれない場合には、静電気防止用のLCDクリーナーを使います。



注意：ベンジン、シンナー、アンモニアなどの揮発性の溶剤を使ってモニターを拭かないでください。このような化学薬品を使うと、キャビネット表面が損傷します。また、LCD画面の清掃には水を使用しないでください。

運搬手順

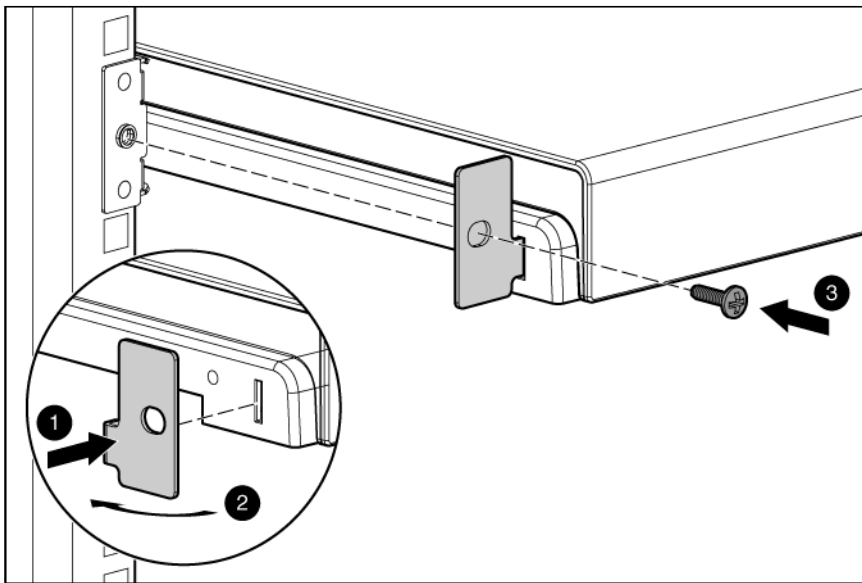
梱包箱は保管してください。HP TFT7600 KVMコンソールの移動または搬送を行うときにこの梱包箱が必要になることがあります。

HP TFT7600 KVMコンソールを設置したラックの移動

ラックに設置されているHP TFT7600 KVMコンソールを移動するには、ご使用のキットに同梱されているロックプレート（226969-001）を、ユニットおよびラックの両側に取り付けることをおすすめします。

ロックプレートを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

1. ロックプレートをスロットに挿入し、ラックの方に回転させます。
2. 1本のM6ネジをロックプレートの穴に挿入し、ユニットをラックに固定します。
3. 手順1~2を繰り返して、他のロックプレートを取り付けます。



規定に関するご注意

ご使用になっている装置にVCCIマークが付いていましたら、次の説明文をお読みください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCIマークが付いていない場合には、次の点にご注意ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源コードに関するご注意

製品には、同梱された電源コードをお使いください。同梱された電源コードは、他の製品では使用できません。

規定準拠識別番号

規定に準拠していることの証明と識別のために、ご使用の製品には、固有の規定準拠識別番号が割り当てられています。規定準拠識別番号は、必要な認可マークおよび情報とともに、製品銘板ラベルに印刷されています。この製品の準拠情報を請求する場合は、必ず、この規定準拠識別番号を参照してください。規定準拠識別番号を製品の製品名またはモデル番号と混同しないでください。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。

Federal Communications Commission notice

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (for example, personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

FCC rating label

The FCC rating label on the device shows the classification (A or B) of the equipment. Class B devices have an FCC logo or ID on the label. Class A devices do not have an FCC logo or ID on the label. After you determine the class of the device, refer to the corresponding statement.

FCC Notice, Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

FCC Notice, Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit that is different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Declaration of conformity for products marked with the FCC logo, United States only

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding this product, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 530113
Houston, Texas 77269-2000
- 1-800-HP-INVENT (1-800-474-6836). (For continuous quality improvement, calls may be recorded or monitored.)

For questions regarding this FCC declaration, contact us by mail or telephone:

- Hewlett-Packard Company
P. O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000
- 1-281-514-3333

To identify this product, refer to the part, series, or model number found on the product.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Hewlett-Packard Company may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods in order to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Canadian notice (Avis Canadien)

Class A equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Union regulatory notice

Products bearing the CE marking comply with the following EU Directives:

- Low Voltage Directive 2006/95/EC
- EMC Directive 2004/108/EC
- Ecodesign Directive 2009/125/EC, where applicable

CE compliance of this product is valid if powered with the correct CE-marked AC adapter provided by HP.

Compliance with these directives implies conformity to applicable harmonized European standards (European Norms) that are listed in the EU Declaration of Conformity issued by HP for this product or product family and available (in English only) either within the product documentation or at the following HP website (<http://www.hp.eu/certificates>) (type the product number in the search field).

The compliance is indicated by one of the following conformity markings placed on the product :

For non-telecommunications products and for EU harmonized telecommunications products, such as Bluetooth® within power class below 10mW.



For EU non-harmonized telecommunications products (If applicable, a 4-digit notified body number is inserted between CE and !).



Please refer to the regulatory label provided on the product.

The point of contact for regulatory matters is Hewlett-Packard GmbH, Dept./MS:HQ-TRE, Herrenberger Strasse 140, 71034 Boeblingen, GERMANY.

BSMI notice

警告使用者:

這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

Korean notice

Class A equipment

A급 기기 (업무용 방송통신기기)	이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합등록을 한 기기이오니 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정 외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.
-----------------------	---

Class B equipment

B급 기기 (가정용 방송통신기기)	이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.
-----------------------	--

Chinese notice

Class A equipment

声明

此为 A 级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取可行的措施。

China energy regulations

根据中国大陆<<能源效率标识管理办法 In accordance with the China Regulation of the Implementation on China Energy:	本显示器符合以下要求: This PC Monitor is compliant with the following requirements:
能源效率(cd/W) Energy Efficiency (cd/W)	>0.16
关闭状态(W) Energy consumption in off mode (W)	<2.0
能效等级 Energy Efficiency Level	3级
能效标准 Code of National Standard applied	GB 21520-2008

Disposal of waste equipment by users in private households in the European Union



This symbol on the product or on its packaging indicates that this product must not be disposed of with your other household waste. Instead, it is your responsibility to dispose of your waste equipment by handing it over to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment. The separate collection and recycling of your waste equipment at the time of disposal will help to conserve natural resources and ensure that it is recycled in a manner that protects human health and the environment. For more information about where you can drop off your waste equipment for recycling, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

電源コードの要件

電源コードは、各国で認定されたものを使用してください。電源コードは、製品に適合し、製品の定格電圧ラベルに記載されている電圧と電流に適合する必要があります。電源コードの定格電圧と電流は、製品のラベルに記載されている電圧と電流を超えるものでなければなりません。さらに、電線の直径は、1.00mm²または18AWG以上、長さは、3.66m以下でなければなりません。

静電気対策

静電気による損傷の防止

システムをセットアップしたり、部品を取り扱う場合には、システムの損傷を防止するために守らなければならないことがあるので注意してください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードやその他の静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、本体の耐用年数が短くなる場合があります。

静電気による損傷を防止するには、以下のことを守ってください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごとアースされている面に置きます。
- ピン、リード線、回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、つねに自分の身体に対して適切なアースを行います。

静電気による損傷を防止するためのアースの方法

アースにはいくつかの方法があります。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。

- すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1M\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドをつけます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドをつけます。
- 作業用具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットがついた、携帯式の作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、HP製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、HP製品販売店にお問い合わせください。

頭字語と略語

KVM

keyboard, video, and mouse。キーボード、ビデオ、およびマウス

OSD

on-screen display。オンスクリーンメニュー

RKM

rackmount keyboard monitor。ラックマウント型キーボード/モニター

TFT

thin film transistor。薄膜トランジスタ

USB

universal serial bus。ユニバーサルシリアルバス

索引

A

Advanced (アドバンスト) 17

B

BSMI notice 24

C

Canadian notice 23

D

Declaration of Conformity 22

E

ENERGY STAR 6

European Union regulatory notice 23

F

FCC rating label 21

Federal Communications Commission (FCC) notice 21、
22

H

Horizontal position (水平位置) 16

HP 1Uアジャスタブルツールレスレールを取り外す 13

K

Korean notice 24

O

OSD settings (OSD設定) 17

OSD、起動 15

OSDの位置 17

OSDメニュー 16

OSDロックアウト 17

P

PS/2デバイス 13

V

Vertical position (垂直位置) 17

あ

アースの方法 26

お

オンスクリーンメニュー 15

か

画像の改善 16

き

キットの内容 7

規定に関するご注意 21、25

く

クロックの調整 17

け

ケーブルコネクタ 13

ケーブル、接続と配線 11

言語 18

こ

ご注意 21

コンポーネント 5、6

し

自動構成プロセス 18

出荷時のデフォルト設定 18

せ

静電気対策 26

そ

操作の概要 13、15

て

デフォルト 17
電源コード 21、25

と

特徴 5
取り付け手順 7
取り付けの概要 7

ね

ネイティブ解像度 14

は

背面のコンポーネント 6
はじめに 5

ふ

フェーズの調整 16、17
ブレースレールアセンブリを取り外す 13

ほ

保守 19
保守のガイドライン 19

ゆ

ユニットにアクセスする 12
ユニットの運搬 20
ユニットを設置したラックの移動 20
ユニットを取り外す 13